

立乙看板

ハンドブック

1 基本事項

1-1 立て看板とは

学生が角材・ベニヤ板などを使用して自作した看板のことです。金属製のポスタースタンドなどに比べて大型で目につきやすいなどの特徴があり、東京大学では多くの学生団体によって自団体の宣伝やイベントの告知を目的に製作・設置されています。立て看板は、屋外に設置される非常に大きな構造物であることから、破損してしまったり風に吹き飛ばされたりした際に、重大な事故を発生させるリスクがあります。そのようなことを発生させないためにも、また上述のリスクがために立て看板設置自体が禁止され多くの学生団体の不利益となるのを防ぐためにも、立て看板の製作・設置にあたってはその安全性確保を最優先したうえで、立て看板管理を行う東京大学教養学部学生自治会(通常期)・東京大学教養学部オリエンテーション委員会(オリエンテーション期間)などの指示に必ず従ってください。

■ 立て看板の分類

立て看板はその大きさにより分類します。縦約1800mm×横約900mmのベニヤ板1枚を使った立て看板を「1枚看」、ベニヤ板を横に2枚繋げて縦横約1.8m四方としたものを「2枚看」、ベニヤ板を3、4...枚使ったものを、「3枚看」、「4枚看」...と呼びます。

1-2 立て看板の製作

立て看板は、槌音広場で製作・解体してください。槌音広場は、槌音広場オープンクラフト委員会の定める規則に則って、他の使用者の迷惑とならないように使用してください。特に、以下の4点は常に気を配ってください。

- **ペンキなどを使用した塗装作業時は、必ず下にブルーシートを敷く。**
- 槌音広場オープンクラフト内に完成した、または製作途中の立て看板をそのまま放置しない。
- 製作・解体時に出た釘や廃材は、放置しないで適切に処分する。
 - » 廃材は、所定の処置をした後廃材置き場に置いてください。
- その他注意事項など
 - » 立て看板を解体する際は、必ず木材と釘等の鉄製品を分離させてください。
 - » 用具の洗浄も含め、ペンキを水道・トイレに流してはいけません。

I-3 立て看板の設置

立て看板を設置する際は、その時期の立て看板管理団体の定める制度に従ってください。

2月27日(火)~4月末に新歓用立て看板の設置を希望する団体は、設置の際に以下の事項を遵守してください。

- 後述する製作方法などに従って、頑丈に製作した立て看板のみを設置してください。
- 1枚看には54kg以上、2枚看には108kg以上の重りを載せてください。
- ベニヤ板1枚の大きさあたり54kg以上が基準です。
- ポリタンクを重りとして使用する際は、必ず満水にしてください。
- 消防上の観点から、ポリタンクを使用する際はなるべく白色のものを使用してください。赤色のものを使用する際は、大きく「水」と記載してください。
- 他団体のものと混同しないよう、自団体が所有するポリタンクには団体名を記載しておくことを推奨します。

2 製作方法

2-1. 材料

カッコ内の数字は2枚看製作時に必要となる数量です。

- タルキ (30mm × 40mm × 4000mm ほど):4本 (7本)
 - » 切断の失敗・割れなどを考え予備のタルキも用意することを推奨します。
 - » 学友会加盟サークルは、学友会から現物援助を受けることができます。
- ベニヤ板 (1800mm × 900mm ほど):1枚 (2枚)
 - » 学友会加盟サークルは、学友会から現物援助を受けることができます。
- 釘 (65mm):40本 (62本)
 - » 製作時のトラブルを考慮し、予備の釘も用意することを推奨します。
 - » 学友会加盟サークルは、学友会から現物援助を受けることができます。
- 釘 (25mm):28本以上 (40本以上)
 - » 製作時のトラブルを考慮し、予備の釘も用意することを推奨します。
 - » 学友会加盟サークルは、学友会から現物援助を受けることができます。
- 重り :54kg[18Lポリタンク3つ](108kg[18Lポリタンク6つ])
 - » ポリタンクは各団体が所有しているものをご使用ください。

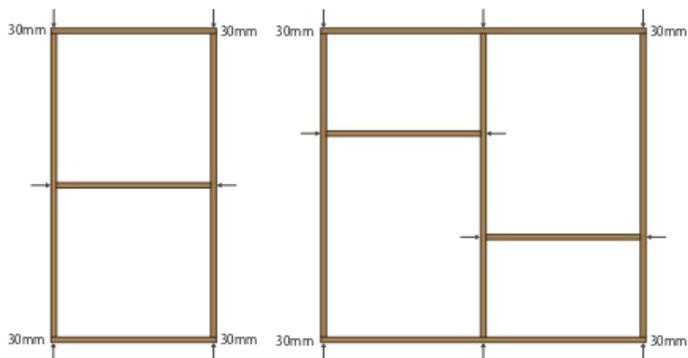
なお、学友会からの現物援助について、詳しくは学友会のHPをご覧ください。

2-2. 製作手順

主に1枚看の製作手順を紹介します。2枚看以上の立て看板も同様に製作してください。

■ 本体枠の作成

下図のように、ベニヤ板の大きさに合わせてタルキを切断します。このとき、必ずタルキの30mmの面がベニヤ板と接するようになるよう注意してください。また、矢印の方向に2本ずつ65mmの釘を打って固定します。



■ ベニヤ板の固定

本体枠にベニヤ板を25mm釘で打ちつけます。釘は、約900mmの辺には6本以上・約1800mmの辺には10本以上打ちつけます。(右図を参考に、赤色の十字の箇所に釘を打ってください。約200mmおきに釘が打たれることになります。)この際、外枠の下辺からベニヤ板がはみ出ないように特に注意してください。

■ 脚の作成

1. タルキの切り出し

脚として使用するタルキの長さとお本数は以下の通りです。(カッコ内は2枚看の場合)

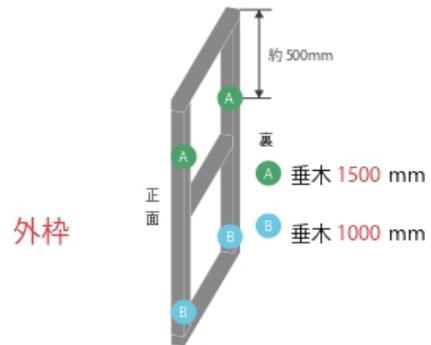
1500mm:2本(3本)

1000mm:2本(3本)

500mm:2本(3本)

2. 外枠への仮止め

右図のA・Bの箇所(本体枠の内側)にそれぞれ1500mm・1000mmのタルキを取り付けてください。仮留めですので、外枠のタルキと脚に10mmほどの間隔を開け、また65mmの釘を外側から1本のみ打ち込んでください。



また、2枚看の真ん中の脚は、左右の脚を固定し終えてから取り付けてください。

3. 脚の固定

先ほど仮留めした、1500mmのタルキと1000mmのタルキの端を合わせて外側から釘を2本打ち込んで接合します。その際は、1000mmのタルキを外側にしてください。また、先ほど仮留めした箇所にもう1本釘を打ち込んでください。

そのあと、50cmのタルキを右図の赤色の位置に取り付けてください。



これは、本体枠の内側かつ1500mmのタルキの外側に取り付け、また必ず外側から釘を打ちつけてください。

4. 仕上げ

取り付けられた脚に、補強とポリタンクの設置のためさらにタルキを取り付けます。1枚看の場合は900mmほど、2枚看の場合は1800mmほどのタルキを2本切り出してください。補強用のタルキは、40mmの面を下にして、接合部になるべく近い位置に、200mmほど(ポリタンクを載せられる程度)の間隔で、65mmの釘を1箇所につき2本ずつ用いて脚と接合してください。

また、タルキが余った場合は他の場所を補強することもできます。

5. 完成

強度に問題がないか、歪みやぐらつきがないかももう一度確認してください。

また、立て看板の裏には【団体名】【団体ID】【緊急連絡先(メールアドレス)】【撤去予定日】を必ず記載してください。

3 製作の際の注意事項

槌音広場で立て看板を製作する際は、槌音広場オープンクラフト利用規則を厳守してください。日によっては多くの団体が製作を行うために槌音広場が大変混雑することがあります。譲り合ってご利用ください。また、例年製作物の解体を行わず槌音広場に放置する団体が散見されます。特に「製作物の破棄に関して」の事項をよく読み、適切に解体・破棄を行なってください。

完成した立て看板については、原則として各団体の部室等で保管することとし、槌音広場含め大学構内への無断放置は厳禁とします。格納できる場所がない団体向けに、委員会が保管場所として指定している場所が一箇所のみあるので、利用される方は第2回サークル代表者会議で公開する『COMPASS vol.2』をご参照ください。こちらの保管場所を利用する際にも遵守事項がありますので、ルールに沿ったご利用をお願いいたします。

槌音広場オープンクラフト利用規則

以下、槌音オープンクラフト利用規則から引用。ただし、混乱防止のために、規則において「当委員会」となっているところは「槌音広場オープンクラフト委員会*」に書き換えている。

槌音広場の使用に関して

- 使用時間は9:00～21:00です。21:30には撤収を完了してください。
- 風でベニヤ板等が飛ばされないように対策してください。また、強風の際には作業を中断してください。
- 槌音広場内から出て作業を行わないでください。
- 火気の使用は厳禁です。
- 廃材・釘・ビス等は全て拾い集め、放置しないでください。
- 釘や画鋸は全て抜いてから廃材置き場にひもで結束しておいてください。
- 原状復帰をして帰ってください。

製作物の破棄に関して

- 製作物は全て解体して破棄してください。
- 廃材集積所に破棄できるのは木材のみです。廃材についているビニール紐等は取り除き、廃材集積所には廃棄しないでください。
- 廃材等は、10cm以上のものは紐で縛り、それ以下のものは袋に入れて廃材集積所にそれぞれ整理して破棄してください。
- 廃材から出ている釘などは廃材に打ち込み、人が持っても怪我をしない状態にしてください。

製作物の保存に関して

- 製作物・資材等を槌音広場内に放置することを原則として禁止します。
- 例外的に製作物・資材等を保管したい場合は槌音広場オープンクラフト委員会*に連絡し、許可を得てください。
- 許可なく放置されているものは槌音広場オープンクラフト委員会*で処分します。
- 製作物を放置する際は責任者名及び連絡先を明記してください。